

◆7 番（内田昇委員） 予算書の 46 ページ、先日の質疑でも少しこれに触れたのですが、認知症の方々のグループホームに非常用の電源を設置したいということで、先日ちょっと聞き漏らしたかもしれませんが、非常用ですから、例えば水害のとき、水害時に埋もれてしまうような場所であると意味がないわけで、その辺の設置場所をもう一度確認をしたいのですが。

○中島正和委員長 高瀬高齢介護課長。

◎高瀬都子高齢介護課長 今回申請のありましたグループホームそよ風の設置場所ですが、建物の脇にある駐車場の一部のところに設置する予定と伺っております。国のほうに確認しましたところ、こちらの補助金の非常用電源は、大規模地震とかそういうものを想定して使っていただきたいということのようでした。

以上です。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7 番（内田昇委員） その補助金の使い道がそうですけれども、さらに加須市としては、やはり水害の危機もかなりありますので、せっかくそういうものを備え付けたんだから、この場所の位置も地面に近いところではなくて、そういうことも想定して、今後お考えになったほうがいいのではないかと思います。

続きまして、予算書の 54 ページ、そばの作付と大豆の生産拡大でございますが、このそばとか大豆の拡大というのは温暖化、何かの影響というのはいかなものでしょうか。

○中島正和委員長 野中農業振興課長。

◎野中裕農業振興課長 大豆につきましては、昨年、高温障害の影響を受けておりまして、被害につきまして、県と一緒に補償の対象にしました。実績として去年はそうなっています。今年はそういう話は聞いていませんで、うまくいっているというような形で認識しているのですけれども。

そばのほうは乾燥にも強い作物というところで、逆に水に弱いというところでは、そばのほうは水害というか水に浸ってしまうほうが心配ではあるので

すけれども、そういう点ではちょっと大豆とそばで違うところがあります。大豆は確かに高温障害、昨年そういう経緯がありますので、その辺は注意を払わなくてはいけないところはあると思うのですけれども、国のほうで今回、麦・大豆の作付拡大というところの取組の中に合致する取組ということで、増やしたいという生産者の意向で補助を申請上げさせていただいて、採択いただいたところでございます。今の気候の変動といいますか、そういったところにつきましては、営農者も当然敏感になっているところかと思いますので、その辺いろいろ情報共有しながら取り組んでいかなければと考えているところ
です。

以上です。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） 何で質問したかというのは、今おっしゃるように、温暖化に適した作物なのかどうかと。補助するに当たって、非常にその辺が気になりました。併せて特に騎西ではそばの生産というのが多いものですから、やはりそばというところとどちらかというとやはり寒いほう、栃木とかその向こうのほうが多く生産されているものですから、気になって質問しました。

もう一つ関連ですけれども、米の被害でカメムシというのがかなり今年は影響していますが、大豆とかそばにはそういう影響というのはなかったのでしょうか。

○中島正和委員長 野中農業振興課長。

◎野中裕農業振興課長 大豆のほう、今ちょうど収穫の時期かと思うんですけれども、カメムシが大豆とかにつかないかというところ、そういうことではなさそう、ある程度はあるでしょうけれども、今のところそういった大きな被害があるとかということは聞いておりません。今回のカメムシの騒動はイネカメムシということで、特に稲のほうに被害をもよおすものが多いという形で聞いております。これからどういう情報が入ってくるか分かりませんが、現状では大豆のほうはうまくいっているというような、農業公社のほうでちょっと聞きますと大丈夫そうな話は聞いておりますので、大丈夫かなというところ
でござい
ます。特に県のほうからも大豆のほうの被害という情報は入っておりませんので、そのような認識でござい
ます。

以上です。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） あわせてそばの情報はいかがでしょうか。

○中島正和委員長 野中農業振興課長。

◎野中裕農業振興課長 そばも今のところ特にそういった加害があるというのは聞いておりませんし、県のほうからもそういった情報は来ておりませんので、現段階では被害の情報は来ておりません。

以上です。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） カメムシに関しては、いろいろなところで情報が錯綜してしまっていて、中には私の知り合いのところでは、そういうところにも影響が多少出ているのかなと。一つの情報として申し上げます。

以上です。